令和6年度第２回新津第五圏域支え合いのしくみづくり会議　まとめ

【日　時】令和6年9月9日（月）10:00～11:30

【会　場】新津地域学園　研修室304

【出席者】

満日コミ協:小池事務局次長、新津東部コミ協:馬場福祉健康部委員、阿賀浦コミ協:坂口社会福祉部員

新関コミ協:松田副会長代理、新津東部地区民児協:小林会長、老人クラブ新関地区協議会:堤会長

NPO法人たか坪の会:上杉副理事長、包括にいつ日宝町:遠藤所長

秋葉区健康福祉課高齢介護担当:吉井副主査、今井係長（行政担当者）

秋葉区社協:稲垣事務局長、小林SC、相馬

１　ごみ出しの課題について

|  |
| --- |
| **テーマ　ゴミ出しの課題について** |
| **課題・現状**  【ゴミ出しのシール】  ・社協が入り、自治会でのしくみがつくられるとよい。  ・地域の中で発展が望めるしくみがあるとよい。  【たか坪の会について】  ・地域の茶の間や包括、ケアマネ、民生委員同士の交流の場などから、意見を聞きながらゴミ出しの課題や現状を把握している。  【地域のつながり、助け合いについて】  ・認知症かは不明だが、ゴミの分別に迷う人がいる。  ・地域の茶の間等、集まりの中でゴミ出しに困っている人の声を聞くことがある。  【地域の現状の把握】  ・構成員より事務局が中心に関わっていく方がよいか。  ・介護サービスなど、公的なサービスに相談が流れてきている現状がある。  ・自治会でのゴミ出し支援は、会長が１年で交代し、途切れてしまうこともあるので、継続的に考える必要がある。  ・常設のゴミステーションがない地域もあるので、支援の方法が異なる場合がある。 |
| **課題・現状に対しての対応・意見**  【ゴミ出しのシール】  ・自治会と相談して、対応ができている地域もある。  ・家族が来た時に支援してもらっているケースがある。  ・シールを使わずに、前日に出すことを認めている。  【地域のつながり、助け合いについて】  ・ゴミ出しが難しい世帯には、隣組で声をかけや支援をしている。  ・包括や社協で調整等始めていき、徐々に地域へ広めていけるか。  ・他地区へ示せるように、地域での取り組み状況をまとめる。  →地域へ情報を返していく。  ・継続的な取り組みを行える団体で動けるか。  ・隣組での助け合いなど、個人の意識の向上が必要ではないか。 |